



No.13



トランプカフェでの
百人一首の様子

赤井川村生活支援体制整備協議体 (赤井川村たすけあい隊)

赤井川村/ 赤井川村社会福祉協議会

悪は眠ら
せない



今年度協議体構成員である、
梶本駐在所長は赤井川村の

子供たちの未来を守る為

地域の支え合い力で何か

できる事がないかと

考案してくれました。

それが、

赤井川村

子ども

見守り隊



何気なく散歩しながら見守っているつもりでも
子どもたちからも見守られている。
そんな気に掛け合う関係がもっと広がれば
素敵な村になると思いませんか



北海道警察本部のホームページに 掲載されました。

<https://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/info/seian/bouhan-volunteer/bouhan-volunteer.html>



今すぐアクセス



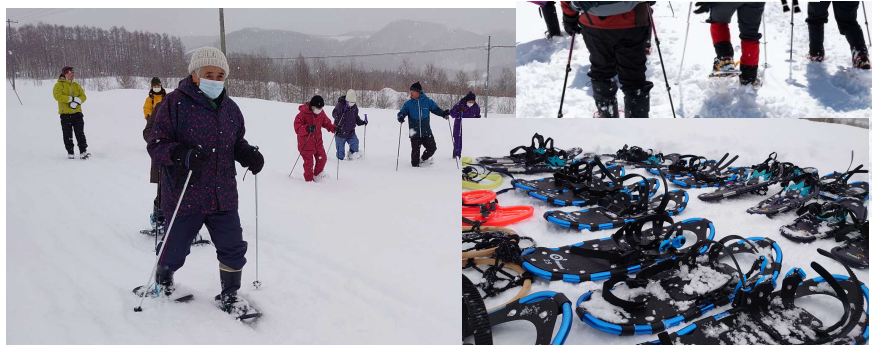
今年度も素敵なお活動ができました。村のことを思う樺本駐在所長に感謝です。この見守り隊を通じて、気に掛け合う心や繋がりがもっと生まれることを願います。





2/28 福祉の授業 社協ビンゴが行われました

地域包括支援センターで かんじき体験が行われました。



2月のおしゃべりサロンで、赤井川村の住民である阿部政範さんを招きかんじき体験を行っていました。参加者からは「外を歩くのは気持ち良い」「いい体験ができてよかったし、楽しかった」等の声が聞かれました。体操とは違った、新たな運動の機会の提供につながっていました。



地域で活動されている編み部から 支えあいの良い話

おおよそ月に一回開催中の編み部の活動中に参加者から、「余市イオンくらいしか毛糸が買えないし、百均のものも見飽きた」などの声があったことをきっかけに、札幌に行った際など、ついでに手芸屋で毛糸を多めに購入し、そのままの値段で編み部の参加者や地域の人に譲り渡すという事をされていました。今までとは違う毛糸で編むことで、喜びや楽しみに繋がり、生きがいになっていると感じました。何気ない事でも一種の支えあいになり、皆さんが生きがいをもって生活できるのかなとも思います。



購入された編み部参加者は、素敵な色の使いやすくお手頃な毛糸が購入出来て感謝していました。毎月楽しみに編み部に参加していると言われていました。



発行日
発行・編集

令和4年3月15日
赤井川村たすけあい隊
事務局：赤井川村社会福祉協議会
〒046-0501
余市郡赤井川村字赤井川318番地1
赤井川村デイサービス内
TEL 0135-34-6068
E-mail:hirano@akaigawa-shakyo.or.jp

